

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年7月19日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870500246		
法人名	社会福祉法人 聖隷会		
事業所名	グループホーム センチュリーの里	ユニット名	ゆり
所在地	〒315-0048 茨城県石岡市三村6284-7		
自己評価作成日	平成23年11月12日	評価結果 市町村受理日	平成24年7月4日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0870500246&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年2月6日	評価確定日	平成24年6月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>経営母体が医療法人であり、特別養護老人ホーム、通所介護事業、居宅介護事業、在宅介護事業が隣接しているため、医療面においても、その他の支援体制も整っている。</p> <p>利用者一人ひとりの想いや意向の把握に努め、認知症であっても家庭的な雰囲気の中での人権の尊重、個別のケア、社会交流（地域の一員として暮らすこと）を理念として掲げ、その人の残存能力を引き出す支援に取り組んでおります。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者や職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、利用者がそれぞれのペースで自由に安心してその人らしく過ごせるよう支援している。</p> <p>家族等へは利用者の生活の様子を写真やコメントで紹介した広報誌を配布したり、各行事への参加を呼びかけ、利用者との絆を大切に支援をしている。</p> <p>併設している特別養護老人ホームや通所介護事業所と協力関係を築いており、利用者や家族等、職員の安心につながっている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根ざした事業所を目指すことを理念とし、利用者との日々の関りにおいて反映できるよう努めております。	基本理念の一つとして「社会交流」を謳い、その実現に向けて全職員で協議し作成した目標を掲げている。 理念と目標は玄関ホールや事務室に掲示するとともに、職員会議などでそれに基づく支援ができているか確認し合い、実現に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	利用者が参加出来る地域の行事には積極的に参加すると共に、近隣小学校の運動会や催事にも参加しています。施設の行事には地域の方、老人会の方を招待し、交流を図っております。	地域とは併設の特別養護老人ホームと共催の夏祭りや敬老会などの行事への招待、小学生や中学生の体験学習、歌やシルバーリハビリ体操などのボランティアの受入れなどを通して、地域と日常的に交流している。 区長や民生委員を通して認知症や独居老人についての相談を受けるなど、地域に貢献している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方に認知症の人の理解や接し方、利用者の暮らしぶりを知っていただけるように努め、いつでも気軽に相談出来る体制であることを周知していただいています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、サービスの実施状況を報告すると共に、会議で出された意見や提案等を職員会議で検討し、サービスの質の向上に活かしています。	運営推進会議は2ヶ月に1回市職員の参加を得て開催しており、利用者や家族等には毎回参加を呼びかけている。 事業所からは利用者の生活の様子や運営状況の報告等を行うとともに出席者で意見交換をし、サービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議、石岡市地域密着型介護サービス事業所協議会を通じて、市担当者や地域包括支援センター職員と、事業所の課題等について相談したり、情報提供を得る等、協力関係を築いています。	市担当者とは電話や郵送で済むことも直接訪問して助言を得たり情報交換をしてコミュニケーションを図っている。 数ヶ月毎に開催される地域密着型連絡協議会は市内の事業所と市職員で空き情報の連絡や意見交換をする場となっており、協力関係を築くよう努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除に関するマニュアルを作成すると共に、身体拘束は行わないことを徹底し、ケアに取り組んでいます。	身体拘束廃止委員会を設置し、定期的に研修や勉強会を開くなどで、全職員が身体拘束の内容とその弊害を理解している。 身体拘束をしないケアを実践しているが、やむを得ず身体拘束をする場合に備えて書類一式を整備している。 玄関はチャイムで出入りをチェックし、利用者が外出した場合は職員が同行するなど、利用者の意思を尊重する支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会の参加や虐待の事例等の資料を使って高齢者虐待防止について学び、職員間においても意識の統一を図っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	関係資料を用いて、地域権利擁護事業や成年後見制度についての理解を深め、必要に応じて活用できるように努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者やご家族様に分かり易い説明を行うよう心掛け、疑問や不安を取り除き、契約内容について納得し、良く理解されてから契約を締結するように努めております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常に利用者の声に耳を傾け、その会話の中から利用者の要望等を汲み取りケアに活かします。職員に対し気兼ねなく意見や苦情を言える環境作りに留意し、日頃より家族に施設運営に理解していただけるよう努めております。	重要事項説明書に苦情相談受付窓口を明記するとともに、事業所の玄関に掲示している。 管理者は日頃から利用者や家族等に「どんな小さなことでも言ってください」と呼びかけているほか、アンケートを実施し意見や要望があればその実現に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議やユニット会議を通じて話し合いの機会を持ち、職員からの意見や提案を運営に反映させております。	管理者は職員が意見を言い易い関係づくりに努めているほか、勤務体制についてもできる限り希望を聞き入れ、働き易い職場の環境づくりに努めている。 職員から出た提案や意見などはすぐに試し、利用者への支援に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各々が向上心を持って働けるよう資格取得を積極的に奨励し、その努力、実績を評価しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内の研修の機会を確保し、サービス水準の向上に努めております。また資格取得の支援も行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他法人の同業者とも相互に訪問等の活動を通じサービスの質の向上に努めております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に事前訪問、面接を十分に行っております。入所当初は個別に対応する時間を多くし、本人の気持ちを受け止めたり、本人の声に良く耳を傾け信頼関係を築いております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	より良い信頼関係を作るために時間を掛けて家族の話を伺い、良好なコミュニケーションが取れるようにしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者及び家族の要望を正確に理解することに努め、必要に応じ他のサービスの紹介をしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	料理の作り方や植物の手入れの仕方等、職員が利用者から教えていただく場面が多く、共に過ごし学びながら支えあう関係が作られています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	各種事業に参加を呼びかけたり、病院受診時の同行をお願いするなど、ご家族と共に利用者を支えているよう努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前住まわれていた住居や自宅への訪問や外泊等を支援し、馴染みの関係が継続されるよう努めております。	職員は日常の買い物に利用者と一緒に出かけたり、馴染みの美容室への送迎を支援しているほか、家族等の協力を得て親戚の集まりや墓参りなどに行けるよう支援している。 利用者の友人が集まる併設の通所介護事業所への往来や遠方に住んで居る友人や親戚との電話や手紙のやり取りなどを支援し、利用者がこれまで大切にしてきた人や場所との関係が継続できるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間においてそれぞれの身体状況や心理状況を理解していただけるよう努め、職員が関わりを持つことにより、互いを理解し支えあうような関係の支援に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後もそれぞれの状況により、気軽に相談していただけるよう促したり、事業所から本人の様子を伺うようにしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者と日々の会話の中から一人ひとりの希望や意向の把握に努め、個別に記録しています。意思表示が困難な利用者の場合は、表情などから想いを汲み取る他、家族等から話を聴き、利用者本位であるよう努めております。	管理者は契約時には利用者がこれまで生活している自宅を訪ねて日常生活動作（ADL）のチェックをしたり、家族等から聴き取りをするほか、入居後は利用者との会話や表情、しぐさなどを観察して一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。 生活歴の聴き取りはしているものの、利用者一人ひとりの人生を俯瞰できるような記録には至らず、特に意思疎通が困難な利用者についての生活歴の把握が不十分である。	利用者本位の支援をするために、入居時並びに日々の支援の中から知り得た利用者一人ひとりの情報を記録し、全職員で共有することを期待する。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や関係者からの情報の中から特に本人の思いの深い部分の把握と理解に努め、それらを大切にしたいサービス提供が出来るよう配慮しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の情報の共有を図り、職員全員が利用者に対して共通の認識を持てるよう努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の中から情報を収集し、モニタリングの結果を踏まえて、利用者や家族等、職員など必要な関係者で話し合い、短期では3ヶ月、長期では6ヶ月毎に作成しております。	介護計画は利用者や家族等の意向を聞き6ヶ月毎に見直すほか、利用者の心身の状態に変化があった場合はその都度見直し、利用者または家族等の確認を得ている。 月に1回モニタリングを行い実践状況や達成状況をチェックしており、現状に即した援助内容となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録には日々の生活の様子、ケアの気付き、排泄状況、食事や水分の摂取状況を記録し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人及びご家族の状況に応じて、通院の送迎等、必要な支援については柔軟に対応し、個々の負担が軽減出来るよう支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアの活動を積極的に受け入れることにより地域との交流を図っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者家族の意向に合わせ、医療機関と連携を図り、適切な医療が受けられるように支援しております。	利用者や家族等の希望にそったかかりつけ医への通院を支援しているほか、協力医療機関への受診や往診を支援している。 受診結果はその都度家族等へ報告するとともに、ケース記録に記載して全職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員が利用者の状況を察知し、医療機関との連絡調整を行っております。また、関連施設の看護師からも適切な指示を受けられるよう連携を保っております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族等と相談し、医療機関に対して本人に関する情報の提供やケアについて話し合いながら、スムーズに退院出来るような積極的な支援を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期のあり方について利用者や家族等、医療関係者、職員で話し合い、方針を共有し支援に取り組んでおります。	看取りに関する指針やマニュアルを作成し、医師により終末期と診断された時点で家族等に説明の上、同意を得ている。 重度化や看取り介護に関する職員の研修や方針の共有が十分とはいえ、マニュアルに基づいた支援体制を構築するまでには至っていない。	あらかじめ重度化や看取り介護に関する利用者や家族等の希望を聞いたうえで、事業所としてできることとできないことを説明し、利用者や家族等が充実し納得した最期を過ごせるよう支援することを期待する。 重度化や看取り介護に関する職員の研修を実施するとともに、マニュアルに基づいて支援することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が上級救命講習を習得し、定期的に再講習を受講しています。実際の場面で活かせる技術を習得しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議を通して避難訓練に近隣住民の協力が得られるよう働きかけ、ホームとの交流を図り、災害時の協力体制を築いております。	消防署立会いの総合訓練を含め、年2回昼間や夜間を想定した避難訓練を併設の特別養護老人ホームと共同で実施している。 避難訓練全体の実施記録はあるものの、事業所独自の視点に立った記録や課題についての話し合いをするまでには至っていない。 事業所内に食糧や飲料水、懐中電灯などを備蓄しているほか、併設する特別養護老人ホームの倉庫に非常用物資を保管している。	前回の避難訓練には地域住民が2名参加していたが、引き続き消防団等へ参加を呼びかけ、地域との協力体制を築いていくことを期待する。 管理者は今後事業所独自の避難訓練を毎月行ったうえで、実施状況や反省点などを話し合い有事に備えることを考えているので、その実現に期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーに配慮した言葉掛けやケアに努めております。	管理者や職員は利用者に対して敬意を表した言葉遣いをし、一人ひとりの尊厳を大切にしたい支援をしている。 個人情報の書類は事務室の鍵のかかるロッカーに保管して情報漏洩に留意するとともに、利用目的を明記した「個人情報の利用に関する同意書」を作成し、契約時に利用者や家族等に説明のうえ確認を得ている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者一人ひとり状態に合わせた説明の仕方や支援を行っております。	/		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	暮らしの主人公である本人を見守りながら、希望や要望、その日の状態に合わせての柔軟な対応を心掛けております。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりの個性、身だしなみに対する本人のこだわりを大切に、納得し満足いただけるよう支援しております。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養バランスにも配慮した食事の提供に努めております。月1回利用者の希望を取り入れたお楽しみ献立で食事が楽しみになるよう工夫しております。	食事は併設の特別養護老人ホームの栄養士によりカロリー計算されたもので、利用者の咀嚼能力に合わせて調理している。 毎月お楽しみ食として利用者と職員で混ぜご飯やケーキを作ったり、おにぎりや唐揚げを持参して公園で食事をするなど、食事が楽しみなものになるよう工夫して支援している。 利用者はそれぞれの能力を活かしながら、食事の準備や後片付けなどを職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事と水分の摂取量を毎日チェック表に記録し、バランス良く提供出来るよう心掛けております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの実施を促し、見守り介助を行っております。訪問歯科より口腔ケアの指導も受け、口腔内の清潔保持に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、可能な限り排泄出来るよう支援しております。	職員は利用者の生活リズムや排泄パターンを把握したうえでトイレ誘導をし、排泄の自立に向けた支援をしている。 夜間帯についても、トイレ誘導やポータブルトイレを利用してなるべくおむつを使用しないよう支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便が出来るよう、管理栄養士の献立に取り入れられております。また、無理のない軽い運動により身体を動かすよう働きかけております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間は特定せず、一人ひとりの生活習慣や、その時の希望やタイミングに合わせ、くつろいだ気分で入浴出来るよう支援しております。	風呂は毎日沸かし、時間帯を決めることなく利用者の希望や状況に応じていつでも入浴ができるよう支援している。 入浴を嫌がる利用者には無理強いをせず、職員や時間帯を変えて声かけをしたり、足浴や清拭で対応するなど工夫をして支援している。 入浴剤を入れたり、バラの花びらを浮かべるなどで変化をつけ、入浴が楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活パターンを把握し、必要な休息や睡眠が取れるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに処方箋を綴り、全職員が把握出来るようにしております。名前や日付を入れる等、誤飲防止に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりのそれぞれの生活歴や出来る力を最大限活かして、その人らしく暮らせるよう支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	スーパーに買い物に出掛けたり、事業所内を散歩したりしております。お花見に行ったり、ドライブ等、戸外への外出を支援しております。	事業所は敷地が広く、天気の良い日は車いす使用の利用者も一緒に敷地内を散歩することが日課となっている。 公園での花見や博物館見学など利用者の希望を聞きながら外出し、四季の移り変わりを肌で感じたり気分転換ができるよう支援している。 併設の特別養護老人ホームのリフト車を借りることができるため、車いす使用の利用者の外出も容易となっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持している利用者は買い物に行ったり、来訪される菓子店からの購入をしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自由に掛けられるような公衆電話を設置、一人で掛けられない方には支援を行っております。手紙、年賀状のやり取りについても支援をしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	外の明かりを取り入れたり、エアコンは外気温との大きな差がないように、きめ細かに調整をしております。 利用者の手作りの作品を飾ったり、生花を飾る等して季節感を取り入れております。	玄関や廊下などの共用空間はゆったり広々として公衆電話やAED、金魚鉢が置かれているほか、共用空間の隅にはソファや椅子が配置され、利用者が居心地よく過ごせるよう工夫している。 居間や廊下には利用者の制作した手芸品や習字、塗り絵、行事で楽しむ写真、季節の花々などが飾られ、家庭的な雰囲気であらぎを感じられる場所となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話コーナーやリビングを設置し、他者との交わりも踏まえながら、それぞれの居場所を確保し、自由に過ごす事が出来るように配慮しております。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や生活用品等の持込を積極的に促し、利用者が落ち着いて過ごせるよう配慮しております。	居室には洗面台が設置され利用者が整容し易くなっているほか、ダンスやテレビ、パソコン、愛読書、雑誌、家族の写真、手作りの品、ぬいぐるみ、位牌などの馴染みの物品や愛着のある物品が持ち込まれ、利用者が居心地よく過ごせる場所となっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口には表札を掲げ、献立表には日付を明記し、見当識等への配慮をしております。			

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム センチュリーの里

作成日 平成24年7月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	9	生活歴の聞き取りはしているものの、利用者一人ひとりの人生を俯瞰できるような記録には至らず、特に意思疎通が困難な利用者についての生活歴の把握が不十分である。	全職員で利用者一人ひとりの生活歴等の情報を共有する。	入所事前調査、日々の支援の中から知り得た利用者一人ひとりの情報をその都度記録し、全職員で共有する。	3ヶ月
2	12	重度化や看取り介護に関する職員の研修や方針の共有が充分とは言えず、マニュアルに基づいた支援体制を構築するまでに至っていない。	事業として出来ることと出来ないことを説明し、利用者や家族等が充実し、納得した最期を過ごせるよう支援する。	重度化や看取り介護に関する職員の研修を実施するとともに、マニュアルに基づいて支援する。	6ヶ月
3	13	消防署、地域住民の協力を得て、避難訓練全体の実施記録はあるが、事業所独自の視点に立った記録や話し合いをするまでには至っていない。	事業所独自の避難訓練を行う。	事業所独自の避難訓練を行い、実施状況や反省点などを話し合い、有事に備える。	6ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。